

個人番号カードについて

個人番号カードの交付が始まっています

個人番号カードは、全国の自治体から委任を受けた「地方公共団体情報システム機構（J-LIS）」が作成し、順次、赤平市役所戸籍年金係へ送付されます。個人番号カードを申請された方は、赤平市役所戸籍年金係より「個人番号カード交付・電子証明書発行通知書（はがき）」を住民票の住所へ送付します。

「個人番号カード交付・電子証明書発行通知書」がお手元に届きましたら、通知書に記載されている期日まで左記の物を持参し、個人番号カードを早めにお受取りください。

【持参するもの】

- 個人番号カード交付・電子証明書発行通知書（はがき）
- 通知カード
- 住民基本台帳カード（お持ちの方のみ）
- 本人確認書類
- 顔写真付きの証明書1点：運転免許証、パスポート、在留カード、身体障害者手帳、療育手帳など
- 顔写真付きでない証明書2点：健康保険証、年金手帳、介護保険被保険者証、学生証、社員証など

個人番号カードを午後8時まで受取りできる日もあります

やむを得ず、日中都合がつかず個人番号カードを受取れない方は次の

日のみ、午後8時まで受取ることができません。

【午後8時まで受取りできる日】

- 3月4日（金）
- 3月17日（木）
- 3月29日（火）

※4月以降の夜間受取りができる日は、広報あかびら4月号以降でお知らせします。

個人番号カードの紛失・盗難にあったときは？

○警察署、市役所戸籍年金係窓口まで届出してください。

○あわせて、個人番号カード機能停止のお手続きが必要となりますので、24時間365日対応の個人番号コールセンターまたは総合フリーダイヤルへ各自ご連絡をお願いします。

- ・個人番号カードコールセンター共通ナビダイヤル
- ☎0570-7831578
- ・マイナンバー総合フリーダイヤル
- ☎0120-950178

なお、個人番号カードの再発行を希望する場合は、警察で遺失届を出してから市役所戸籍年金係窓口へお越しください。



冬休み！ オリジナルイラスト・絵画展

応募総数264点の中から見事、最優秀賞を受賞された方々をご紹介します。

テーマ 「これがイチバン！」

【小学校1年生の部】
森海斗（赤間小1年）



【小学校2年生の部】
平田大空（赤間小2年）



【小学校3年生の部】
岡本茉夕（赤間小3年）



【小学校4年生の部】
春田愛斗（赤間小4年）



【小学校5年生の部】
畑中優心（赤間小5年）



【中学校1年生の部】
下宿真央（中央中1年）



【中学校2年生の部】
立花将悟（中央中2年）



【中学校3年生の部】
上村 真衣（中央中3年）

炭鉱長屋の食文化。 あかびらには「がんがん鍋」がある。



赤平がんがん鍋協議会 代表
焼肉のたきもと 滝本 守 さん



『住民の顔が見える広報』を目指して、地域おこし協力隊がまちへ飛び出て市民の皆さんをクローズアップ！

『赤平がんがん鍋協議会』

発足の経緯は？

この協議会は2011年に立ち上がりました。もともとは、以前赤平で開催された「国際鉱山ヒストリー会議」と「炭坑節全国大会」をきっかけに発足した「赤平の食を考える会」が始まりです。炭鉱にまつわる食べ物で赤平を盛り上げることはできないか、PRできるものはないか、メンバーみんなで考えた末にたどり着いたのが昔からなじみのある『ホルモン』を使った鍋でした。

がんがん鍋の由来は？

炭鉱で栄えたところによく食べられていた料理で、この名前には『ストーブをガンガン焚いて、ガンガン煮込んで、ガンガン食べて、という当時の炭鉱文化への想いが込められているんですよ。』

最近では、市民の皆さんにも少しずつ『がんがん鍋』が定着してきたことを肌で感じられるようになり、とても嬉しく思います。

市内外のイベントに積極的に参加する理由は？

新しいきっかけづくりをしたいからですね。それまで、がんがん鍋はもちろん赤平のことも知らなかった人が、がんがん鍋という『食』を通じて赤平を知ってくれる。それってすごく嬉しいことですし、やりがいを感じる瞬間でもあるんですよ。

それに、イベントに出店すると、毎年懐かしい人と再会することが出来ます。普段はなかなか赤平に行けないけれど、イベントの時には必ず顔を出してくれる人もいます。これからも、そういった交流も大切にしたいです。



札幌のイベントで出店する滝本さん。

これからの目標は？

やっぱり今まで以上に、たくさんの方にがんがん鍋を知ってもらいたいことですね。

いま巷には、B級グルメがたくさんあるので、いくら美味しくて、なかなか浸透しないところが多いと思うんです。だから、

これからも活動を続けていきながら、いずれは『赤平IIがんがん鍋』といった「がんがん鍋」が持つブランド力の底上げをしていけたらなって思っています。

★「がんがん鍋まつり」

3月6日(日)午前10時から情報発信基地AKABIRAベース（赤平市幌岡町）にて開催！



今や赤平市民なら知らない人がいないほど、地元で根付いたがんがん鍋。各店舗ごと異なる味をぜひお楽しみください。



編集後記

地域おこし協力隊 まちの情報発信部門
愛知県出身 野口 暢子



先月挑戦したいとお話したウィンタースポーツ（スキー）に挑戦しました！久しぶりのスキーは、とても楽しくてあっという間でした。ただ案の定、翌日は全身筋肉痛に襲われました（笑）。